

銀行名	常陽銀行					
タイトル	創業・新事業支援 「新事業創出支援パッケージ『絆』」の展開					
取組み内容	<p>【取組み経緯】</p> <p>○地域の方々と共に新産業・新事業を生み出し、地域経済の活性化につなげていくことを目的として、成長分野等における革新的・創造的な事業プランを表彰する「常陽ビジネスアワード」を平成 24 年に創設。併せて、革新的・創造的な新事業プランの実現・成長に向けた成長マネーの円滑な供給に取り組むため、「常陽地域協創ファンド」を創設した。</p> <p>○平成 25 年 6 月には、新事業プランの発掘、資金支援のみならず、「常陽ビジネスアワード」を軸に起業家精神の醸成や事業プランの作成から、事業の立ち上げ、安定・成長に至る一貫した支援を新事業創出に向けたひとつの新たな事業として捉え、「新事業創出支援パッケージ『絆』」を展開している。</p> <p>【新事業創出支援パッケージ『絆』の概要】</p> <p>■ 新設の産学官連携チーム※、営業店や外部機関との協働により、『常陽ビジネスアワード』を軸に、<u>起業家精神の醸成、事業プラン作成、事業立上げ、安定・成長に至る一貫した支援</u>を展開。</p> <p style="text-align: right;">※産学官連携チーム コーディネーター ・ 外部からの招聘 3名 ・ 支店長経験者 2名</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; vertical-align: top;"> <p>◆産学官連携チーム、営業店によるプラン高度化支援</p> <p>◆新事業協創セミナー(プラン作成編)開催</p> </td> <td style="width: 20%; vertical-align: top;"> <p>◆新事業協創セミナー(意識醸成編)開催</p> <p>◆6次産業化講演会の開催</p> </td> <td style="width: 20%; vertical-align: top;"> <p>◆常陽ビジネスアワードの継続開催</p> <p>◆いばらき創業塾、チャレンジ支援(女性創業支援)セミナー開催【県と連携】</p> </td> <td style="width: 20%; vertical-align: top;"> <p>◆常陽産業研究所、産学官連携チームによる個別コンサルティング</p> <p>◆常陽地域協創ファンドの活用</p> <p>◆プレゼン機会の提供 →ものづくり企業フォーラム等</p> </td> <td style="width: 20%; vertical-align: top;"> <p>◆成長支援 →事業性ローン、ABL、リースなど成長に向けた多様な資金供給 →ビジネスマッチング、海外進出支援、用地紹介等の多様な事業支援 →各種コンサルティング</p> </td> </tr> </table> <p>●事業化支援ネットワークの構築、強化 コーディネーター事業のネットワークを構築・強化(司法書士、行政書士、会計士、税理士、社労士ほかコンサル会社等) 新事業創出に向けた産学官金の連携強化(茨城県、つくば市、茨城大学、筑波大学、ものづくり総合商社・流通等大企業、VC等)</p> <p>【取組み結果】</p> <p>○第 1 回目の「常陽ビジネスアワード 2012」の受賞プランに対し、事業プランのプレゼン機会（当行主催のものづくり企業フォーラムやアグリ交流会セミナーのほか、官庁主催のラウンドテーブルなどでもプレゼンを実施）の提供、資金支援などに取り組んだ。この結果、常陽地域協創ファンドは 6 件/294 百万円の実績となった。</p> <p>○第 2 回目となる「常陽ビジネスアワード 2013」の開催に際し、行政(茨城県)と連携した事業プラン作成セミナーや女性の創業支援セミナーなどを開催。女性の創業セミナーにおいては、「常陽ビジネスアワード 2012」女性受賞者の講演を取り入れるなど有意義なものとなった。</p> <p>○「常陽ビジネスアワード 2013」では募集期間 2 ヶ月で、92 のプランを応募いただき、このうち 12 プランを表彰。今後、受賞プランの事業化に向けた各種支援を行うとともに、受賞とならなかったプランの再チャレンジ、高度支援を行っていく。</p>	<p>◆産学官連携チーム、営業店によるプラン高度化支援</p> <p>◆新事業協創セミナー(プラン作成編)開催</p>	<p>◆新事業協創セミナー(意識醸成編)開催</p> <p>◆6次産業化講演会の開催</p>	<p>◆常陽ビジネスアワードの継続開催</p> <p>◆いばらき創業塾、チャレンジ支援(女性創業支援)セミナー開催【県と連携】</p>	<p>◆常陽産業研究所、産学官連携チームによる個別コンサルティング</p> <p>◆常陽地域協創ファンドの活用</p> <p>◆プレゼン機会の提供 →ものづくり企業フォーラム等</p>	<p>◆成長支援 →事業性ローン、ABL、リースなど成長に向けた多様な資金供給 →ビジネスマッチング、海外進出支援、用地紹介等の多様な事業支援 →各種コンサルティング</p>
<p>◆産学官連携チーム、営業店によるプラン高度化支援</p> <p>◆新事業協創セミナー(プラン作成編)開催</p>	<p>◆新事業協創セミナー(意識醸成編)開催</p> <p>◆6次産業化講演会の開催</p>	<p>◆常陽ビジネスアワードの継続開催</p> <p>◆いばらき創業塾、チャレンジ支援(女性創業支援)セミナー開催【県と連携】</p>	<p>◆常陽産業研究所、産学官連携チームによる個別コンサルティング</p> <p>◆常陽地域協創ファンドの活用</p> <p>◆プレゼン機会の提供 →ものづくり企業フォーラム等</p>	<p>◆成長支援 →事業性ローン、ABL、リースなど成長に向けた多様な資金供給 →ビジネスマッチング、海外進出支援、用地紹介等の多様な事業支援 →各種コンサルティング</p>		

【ご参考：「常陽ビジネスアワード2013」の概要】

募集対象	下記事業プランにおける革新的・創造的な事業プラン ①ものづくり②アグリ・6次産業化③環境・エネルギー ④医療・介護⑤先端技術⑥海外進出など
募集期間	平成25年11月～12月
審査方法	第1次審査：書類選考 第2次審査：プレゼンテーション・面接
表彰	最優秀賞：1プラン 賞金300万円 優秀賞：複数 賞金100万円 奨励賞他：複数



『常陽ビジネスアワード2013』二次審査会（H26/5月）

【ご参考：「常陽地域協創ファンド」の概要】

- ・ 設定目的：創造的・革新的事業プランの実現に向けて、成長マネーを円滑に供給することを目的として設定。
- ・ 設定時期：平成24年11月
- ・ ファンド総額：10億円

以上

銀行名 常陽銀行

タイトル 創業・新事業支援
「事業協創プロジェクト『アクションD』」の実施

【取組み経緯】

○当行では、地域ものづくり企業の10年先にも通じる競争力強化、新たな企業価値の創出に向けて、地元大学や大手発注側企業等と連携し、「next X（ネクストテン）」活動を進めている。

●next X活動とは？
10年先の具体的なビジョンをお客様とともに描き、そこへ至る10年のロードマップを協創していくために「産学官金」が連携して行う活動。
資金面だけでなく、技術力、経営力、人材力、現場力など、あらゆる面での向上をサポートする取組み。

○本活動の一環として、地元企業の伸長市場への進出支援、新規事業取組み支援を目的に、大手ハウスメーカーである大和ハウス工業と連携し、事業協創プロジェクト「アクションD」（大和ハウス工業と地元中小企業との事業協創マッチング企画）を実施した。

○大和ハウス工業の新規事業に対して初期段階から参画、技術連携を行うことで、地元企業の競争力強化、新たな企業価値の創出支援に取り組むもの。

○本プロジェクトは、当行、いばらき成長産業振興協議会、茨城県、茨城県内の産業支援機関が共同で、中小企業の事業支援に取り組む初めての試み。

【概要】

<p>技術 ニーズ 説明会 (25年7月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「環境・新エネルギー」「健康・医療機器」「次世代農業化（6次産業化・農商工連携等）」「各種ロボット機器・装置」等の分野における技術ニーズ・事業アイデアを大和ハウス工業が説明。 ・地域のものづくり企業から技術ニーズ・事業アイデアを募集。
<p>個別 商談会 (25年10～11月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・応募提案の中から、大和ハウス工業において面談企業を選定。 ・個別商談会において、大和ハウス工業との個別商談（プレゼンテーション）を実施。

〔個別商談会の模様〕



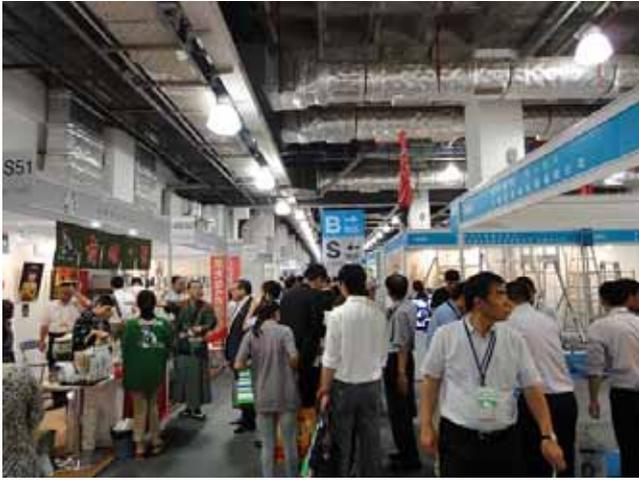
【取組み結果】

○157社が説明会に参加し、うち65社が技術提案書を作成し、大和ハウス工業との個別商談を実施。その結果、4社が事業協創先として大和ハウス工業から選定され、共同事業を進めている。

＜事業協創先（4社）の技術提案分野＞

- ①コミュニケーション分野
- ②見守りシステム分野
- ③制御系モーター分野
- ④医療・介護系ロボット分野

以上

銀行名	常陽銀行
タイトル	海外進出支援 「海外商談会への積極的な取組み」
取組み内容	<p>【取組み経緯】 当行では、取引先企業の海外進出や海外販路拡大を支援するため、海外商談会を積極的に開催している。 25年度は中国で2回、シンガポールで1回の商談会を行い、多数の取引先企業にご参加いただいた。 その他の取組みとして、海外進出セミナーの開催や海外銀行との業務提携を行うなど、積極的に取引先企業の海外事業展開をサポートしている。</p> <p>【25年度の海外商談会開催状況】 中国 日中ものづくり商談会 <上海開催 9月 出展企業603社のうち当行取引先34社が出展> <広東開催 11月 出展企業153社のうち当行取引先11社が出展> ~上海開催時の様子~</p>  <p>シンガポール 食の商談会～地銀8行にて共催 <シンガポール開催 8月 出展企業46社のうち当行取引先6社が出展></p> <p>【取組み結果】具体的な商談例 中国への進出を検討していた企業に対し日中ものづくり商談会を案内。実際に商談会へ参加することにより、現地でのニーズがあることを確信し中国進出を決定。当行主体での進出支援につながった。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

銀行名	常陽銀行
タイトル	東日本大震災事業者再生支援機構を活用した事業再生支援取組み
取組み内容	<p>【取組み概要】</p> <p>債務会社は、明治創業の食品製造業者。福島第一原子力発電所の事故による風評被害等の影響から業績不振に陥り、事業再生支援に取り組んだ事例。</p> <p>風評被害の影響を受けながらも、一部製品については、その影響が限定的なことから、当該製品を中心とした事業計画をもとに採算改善を図ることとした。また、毀損したバランスシートの回復に向け、東日本大震災事業者再生支援機構（以下、機構）と連携し、機構によるサブメイン行以下 10 行の貸出債権ならびに当行貸出債権の一部買取りを通じた過大債務の除去、さらには、地域の事業再生ファンドを引き受け手とする第三者割当増資による資本回復を図る事業再生計画の合意形成を進めた。また、社内に新たに設置した「経営諮問委員会」への人材派遣を行うなど、事業再生計画の遂行力を高めるための人的支援も行っている。</p> <p>【取組み結果】</p> <p>計画初年度において経常利益が黒字転換を果たすなど、債務会社の経営改善が進んでおり、地域の雇用維持にもつながるなど、震災復興にも資することとなった。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

銀行名	常陽銀行
タイトル	食と旅のガイドブックやフォトコンテストを活用した観光振興への取り組み
取り組み内容	<p>【取り組み経緯】</p> <p>○東日本大震災および原発事故の発生により、当行主要営業地盤では観光客の大幅な減少、農漁産物販売の落ち込みなど風評被害の影響を受けた。こうした状況を踏まえ、食関連事業者の販売促進や地元の観光振興に貢献することを目的に食と観光を融合させたガイドブックを制作し、地域内外に情報発信することとした。また、観光振興には既往の観光資源のみならず、新たな地域の魅力や隠れた観光資源を発掘し、地域内外へ情報発信していくことが重要との認識のもと、地域の新たな魅力を発見することをコンセプトとしたフォトコンテストを展開することとした。</p> <p>【展開施策の概要】</p> <p>○「いばらき おいしいもの巡り—ちょっとおでかけ旅ガイド」の制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「旅して、食べて、いばらきを応援」をコンセプトに、茨城県内の自慢の逸品と主要な観光スポットを紹介する「いばらき おいしいもの巡り—ちょっとおでかけ旅ガイド」を制作。冊子のほか、当行ホームページにも掲載。 ・全128社の商品を茨城県内の5エリアごとにまとめ、各エリアの観光スポットを掲載。商品の取り寄せを可能とするデータを掲載したほか、本誌掲載の観光スポットを巡りながら、掲載商品の販売店を訪れることができる地図を挿入した。また、バイヤーにも活用いただけるよう、企業向け商品も掲載した。  <p>詳細は http://www.joyobank.co.jp/enterprise/ouendan/index.html をご覧ください。</p> <p>○常陽フォトコンテストの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな地域の魅力や隠れた観光資源を発掘し、地域内外へ情報発信していくことで、観光振興を後押しすることを目的としたフォトコンテストを開催。 ・より身近な観光資源を数多く発掘していただきたいとの思いから、茨城県内

を3地域（県北、県央・鹿行、県南・県西）に分け、隣県の福島・栃木県を加えて地域毎に順次開催している。

【取り組み結果】

○「いばらき おいしいもの巡り—ちょっとおでかけ旅ガイド」の制作

- ・当初5万部を発行し、営業店での顧客配布のほか、観光施設や県内公立図書館などに配備。各種マスコミに取り上げられ、お客様からも好意的な評価を頂いている。また、茨城県内の小学校の先生から、「総合学習の授業で『県内の地域の商品を知る』という題材を取り上げるにあたり、本誌を利用したい」旨の要望が寄せられるなどの反響があった。

○常陽フォトコンテストの開催

第1回茨城県北編（平成25年8月6日～9月20日）

- ・テーマ：「休日の朝」を連想させる地域の魅力
- ・応募総数：176作品 うち15作品が入賞
- ・入賞作品については、当行営業店のロビーを使った巡回展示、当行主催の各種イベントでの掲示などを通じて、県内の観光資源の情報発信に努めている。

〔最優秀作品〕「おはよう大子で～す」



第2回福島・栃木編（平成26年1月15日～3月14日）

- ・テーマ：私が感じる地域の「新たな」魅力
- ・応募総数：445作品 うち24作品が入賞
- ・第1回同様に巡回展示のほか、各種イベント等での展示を計画。行政等が作成する観光パンフレット等での活用など情報発信の強化に努めていく。

〔最優秀作品〕「天空の楽園」

「お出迎え」



詳細は <http://www.joyobank.co.jp/photocontest/index.html> をご覧下さい。

以上